

矢口達 やぐち 繚譯家。明治二十二年九月二十日茨城縣生れ、昭和十一年四月四日歿（二八九一—一九三六）。筆名石井蕙一。大正二年早稻田大學文學部英文科卒。東京府立第二中學校教諭、早稻田高等學院教授、早大講師歴任。雜誌『聖金』、『假面』同人。隨筆家矢口純の父。

譯書、ビヨルンソン作『ワイルド』(再版・明治四十五年六月十日新陽

堂)、オスカヤ・ワイルド作『架空の類聚』(大正二年六月十日新陽

堂)、ブランデス著『十九世紀文學主潮 移民文學』(大正二年五月二十一日新

陽堂)、ジオブニン・ボツカツ子ヨ作『千日物語』(島村抱月解説、

大正二年十一月二十八日實業之日本社『世界名著物語』)、ダイケン

ス作『クリスマス・カロル』(大正四年二月二十一日植竹書院『薔薇

叢書』)、ココナン・ドイル傑作文庫・第一編『疑案の指環』(大正

四年七月一日銀座書房)、『近代英文學概観』(譯著、大正八年五月

五日敬文館書店)、『モウパッサン全集』(共譯、第拾壹卷『流轉す

る女』外貳拾八篇・大正十年十一月十五日、第拾四卷『女の巧み』外拾六

篇・十一年二月二十日、第拾五卷『女の一生』外一篇・四月二十日天

祐社)、オスカヤ・ワイルド作『ドリヤン・グレイの畫像』(大正十

一年五月十五日天祐社)、デイ・エツチ・ローレンス作『戀する女の

群』全二冊(上卷・大正十一年五月二十日、下卷・六月二十一日天祐

社)、シヤツク・ロンドン作『血の記

録』(大正十一年十二月二十一日朝香

屋書店)、オスカヤ・ワイルド作『蕩

兒』(大正十二年十月八日春洋社)、

ブラスコ・イバニエス作『女性の敵』



矢口達譯

- (大正十二年十一月十日朝香屋書店)、マリー・ストーパス著『児童
 愛』(烏山朝夢共譯、大正十二年十一月十日朝香屋書店)、オスカ
 ・ワイルド作『謎の女』(大正十二年十一月二十日新潮社『海外文學
 新選』)、マーガレット・サンガー著『處女愛』(大正十四年二月五
 日文省社)、カーペンタヤ著『性の榮光』(大正十四年二月二十日文
 省社)、キリヤム・ヒリス作『地上樂園』(大正十五年六月二十日國
 際文獻刊行會『世界奇書異聞叢聚』)、^十『大詩聖詩集と其人々』(昭和
 二年十月十五日教文社)等。

著書『社會思潮十講』建設者同盟講演集』(合著・平野力二編、大正
 十一年十一月十日同人社書店)、D. H. LAWRENCE 『THE SHADES OF SPRING
 (AND OTHER STORIES)』(編、大正十二年四月十二日教文堂書店)、

『世界的風俗史』(昭和五年十一月十日武俠社『性科學全集』)等。